

【和歌山県】

現在の景気：足踏み。

3か月程度の見通し：低調ながら持ち直しの動きに向かうとみられるものの、海外経済の減速、原材料高などの影響が懸念される。

個人消費：緩やかな持ち直し。2月の大型小売店販売（店調前）は前年比1.7%増と5か月連続で増加。店調後は前年比3.3%減と4か月連続で減少。乗用車販売（貨物車、その他を含む）は前年比37.9%増と5か月連続で増加、軽自動車販売（貨物車、その他を含む）も5か月連続で増加。

住宅建築：減少傾向。2月の住宅着工戸数は2か月ぶりに前年比減少、床面積も2か月ぶりに減少。

設備投資：持ち直しの動きに一服感。1月の民間建設工事受注高は前年比55.3%増と4か月ぶりに増加。中小企業の設備資金需要は減速傾向。

公共工事：一進一退。2月の公共工事請負額は前年比231.0%増と2か月連続で増加。

輸出：増加。2月の和歌山税関支署管内通関輸出額（円ベース、速報値）は前年比17.2%増と14か月連続で増加。

生産活動：弱含み。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比5.0ポイント上昇し103.4と5か月ぶりに上昇。原指数は前年比5.0%低下し5か月連続で低下。鉄鋼、一般機械、窯業・土石製品、化学など8業種が上昇、金属製品、電気機械、繊維など6業種が低下。

観光：弱い動き。3月の白浜温泉宿泊客数（脱退施設調整後）は震災の影響から大幅に減少した前年比9.6%増と9か月ぶりに増加。

雇用情勢：持ち直しの動きが一服。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.04ポイント低下し0.72倍と5か月ぶりに低下。有効求職者数は11か月連続で前年比減少、有効求人数は22か月ぶりに減少。

（トピックス）

3月19日、和歌山県立医大は、産官学が一体となって医療機器の開発を進める「医療機器開発コンソーシアム和歌山（仮称）」を2012年度に発足させる計画を発表。県立医大が医療現場でニーズを掘り起こし、和歌山大学や近畿大学理工学部が技術を提供、医療機器開発意欲の高い県内企業と連携して共同研究に取り組む。

中小企業研究センターが、経済的、社会的に優れた成果をあげている中小企業を顕彰し、国内の中小企業の発展に役立てることを目的として主催している「グッドカンパニー大賞」に、県から2社選出。高機能製ポリマーの原料を開発・製造した「セイカ」（和歌山市）が優秀企業賞、発酵済み冷凍パン生地の開発を評価された「プーランジュリーピノキオ」（海南市）が新技術事業化推進賞を受賞。

県北部の産業拠点「紀北橋本エコヒルズ」に、食用油メーカーの岡村製油（大阪府）、洗浄剤の理工協産（東京都）、食品用香料の富士香料化工（大阪府）の工場進出が決定。整備が進む京奈和自動車道など交通アクセスに恵まれた点を売り込んだ結果、すでに5社が進出し操業中。

< 主要産業の動向 - 和歌山県 - >

機械製造：島精機製作所は、無縫製ニットを作るホールガーメント横編み機「MACH」シリーズの新型機種と、島正博社長が米国人以外で初めて米国繊維歴史博物館に殿堂入りしたことを発表。同社は名だたるスーパーブランドがニット衣料制作に使用している同社の横編み機を活用して、自ら衣料品販売事業にも本格参入。高島屋東京店にニット衣料専門店「SAMAND OR」（サマンドール）の第1号店を開店。

機械製造：ノーリツ鋼機グループ会社のNKワークスは、同社開発の画像処理技術などを活かした画像解析ソフト「AccuSmartVision」を警察や検察などの公的捜査機関向けに発売。同ソフトはあらゆる防犯カメラの動画や静止画をワンステップで自動的に鮮明化することが可能。